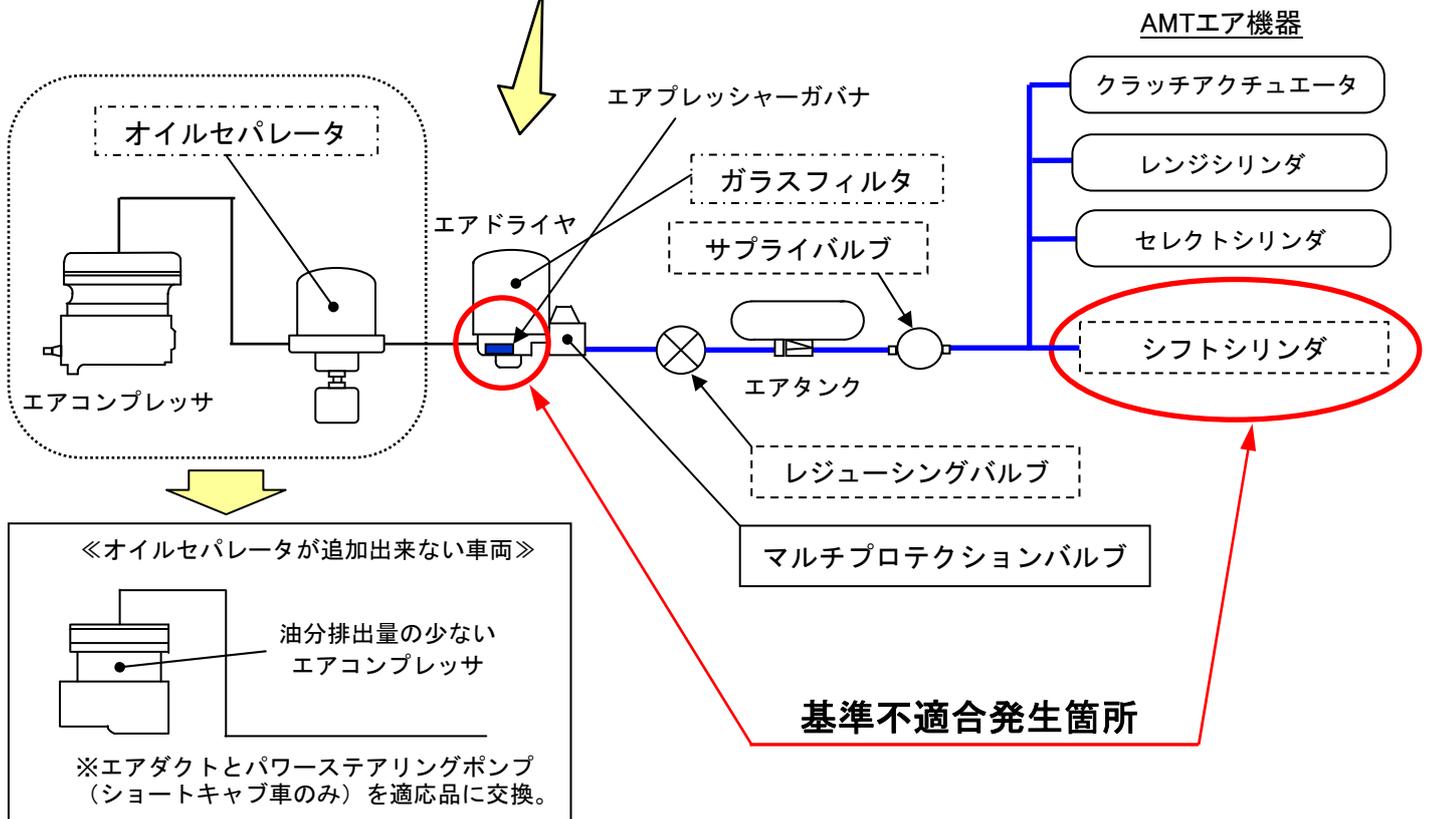


# 改善箇所説明図



12段機械式自動変速機を搭載した大型トラックにおいて、エアコンプレッサから供給される圧縮空気中に含まれる油分が酸化劣化して黒色粘着物が生成されるため、エアドライヤのエアプレッシャーガバナ摺動部やシフトシリンダのメインバルブ摺動部が黒色粘着物により固着する場合があります。そのため、そのままの状態で使用を続けると、シフトシリンダからのエア漏れや作動不良等が生じ、最悪の場合、変速が出来なくなり走行不能になるおそれがある。

## 改善措置の内容

全車両、オイルセパレータ、エアドライヤにガラスフィルタを追加するとともに、マルチプロテクションバルブを新品に交換し、エアプレッシャーガバナとトランスミッションコントロール用エア配管を清掃するとともに、オイルセパレータのフィルタメンテナンスについて記載したメンテナンスノート及び取扱説明書の追補版を配布する。また、レジャーシングバルブ、サプライバルブ、シフトシリンダのエア供給口を点検し、油分による汚れが認められた場合は新品に交換する。

なお、改造等によりオイルセパレータが追加出来ない車両については、エアコンプレッサを油分排出量の少ないものに交換するとともに、エアダクトを適応品に交換し、ショートキャブ車についてはパワーステアリングオイルポンプも適応品に交換する。

更に、ダイレクトメールにて、エアドライヤの定期交換部品（乾燥剤、フィルタ、ゴム・パッキン類）の確実な交換実施について注意喚起を行う。

注：      は交換する部品、     は油分による汚れが認められた場合に交換する部品、     は追加する部品を示す。

識別：作業完了車には、助手席リヤドアピラーストライカー付近に「HD179」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。